

## 入学式式辞

桜花爛漫の時を迎え、野山には、新緑の息吹が感じられます。明るい春を、今年もまた迎えることが出来ました。

本日ここに「二〇〇九年度 学校法人岐阜済美学院 済美高等学校の入学式」を挙行するに当たり、加納中学校長 轟 喜義様 厚見中学校 教頭 糸井良文様、厚見自治連合会会長 藤澤昭男様はじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、心から感謝し、御礼を申し上げます。

「有り難うございました。」

はじめに、足立友恵さん以下二百八十三名の皆さんに、四月一日付けで、本校への入学を許可します。

二百八十三名の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにとって、本日は「新しい出発の日」であります。いろいろな思いを胸に、緊張して入学式に臨んでいることと思います。

どうか、過ぎ去った過去とは一線を画して、<sup>かくし</sup>「新しい気持ちで、済美高等学校における高校生活を始めて下さい。」

本年度は、本校にとりまして、十年先の二千十八年、創立百周年を一層「輝いた学校」で迎える為の取組を行う第一年目、スタートの年であります。

本校は、創設者片桐竜子先生<sup>りゅうこ</sup>により、一九一八年・大正七年に創立されました九十一年の歴史を誇る伝統校であります。

学校を創立した精神的な柱を「建学の精神」と言っていますが、これを、聖書の箴言から、「神を畏れることは知識のはじめである」としています。さらに「学校教育目標」として、目指す生徒像を掲げ、①福音主義キリスト教学校で真剣に学び、豊かな心情を身に付けた生徒②日々の学習と部活動に積極的に取り組み、自己の可能性を伸長し、夢や希望を実現する生徒③端正な身嗜みで挨拶が励行で

き、基本的な生活習慣が確立している生徒 を掲げています。学校教育は、福音主義キリスト教を基盤に、「神への信頼と人への愛」を大切にする教育を行う、特色ある高等学校であります。

皆さんは、本日、このような伝統と特色ある高等学校に入学された訳であります。

入学できた喜びを胸に、今日から三年間、学校生活に積極的に取り組み、皆さんの持っている資質や能力、可能性を最大限に伸ばしてください。そのために、高校生活を送る上での大切な心構えを三点お話しておきます。

第一は、自己の将来に対して、夢と希望を持つことであります。

第二は、自己の資質や能力を高め、「生きる力」を身に付けるために、学習と部活動に精一杯取り組むことです。

第三は、どのような困難に出会おうとも、自己を信じて、諦めないで、集中して粘り強く努力することです。

繰り返しますと、①夢や希望を持つこと②学習と部活動に全力で取り組むこと③自己を信じてあきらめないで努力すること、です。

この済美高等学校で皆さん一人ひとりの個性の花が開き、実を結ぶことをおおいに期待しております。

最後になりましたが、保護者の皆様方には「御子様の本校へのご入学」を心からお祝い申し上げます。

お預かりする御子様のお一人おひとりが、これから三年間、充実した高校生活を送ってもらえるよう、本校の教職員が丸となって真摯に教育に当たり、全力を尽くすことをここにお約束します。

保護者の皆様方と本校の教職員がともに協力し合って、始めて学校教育は機能致します。皆様方の本校教育へのご理解とご協力とを願ひし、入学式の式辞と致します。

二〇〇九年四月八日

済美高等学校長 郷 峰男